

## Press Release

2010年7月8日  
日本インターネットエクスチェンジ株式会社  
株式会社セーブルネットワークス

# JPIX 「IPv6v4 エクスチェンジサービス」の実験サービスを開始 ～IPv6 上での IPv4 サービスを実現～

日本インターネットエクスチェンジ株式会社(以下 JPIX、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石田慶樹)は、2011年ごろと予測されている IPv4 グローバルアドレスの枯渇問題に対応するために、IPv4 と IPv6 の共存・移行期間における円滑なインターネット環境の提供を目的として、JPIX 加入者向けに IPv6 インターネットを経由してユーザ宅内のクライアントホストから IPv4 インターネット上に存在するコンテンツサーバへの到達性を確保する「IPv6v4 エクスチェンジサービス」の実験サービスを開始いたしました。

IPv4 アドレス枯渇後もユーザ宅内の IPv4 アドレスを有する端末は存在し、また IPv4 コンテンツも当面はそのまま提供されるものと予想されます。一方で、アクセス網自体は徐々に IPv6 への移行が進むことから、IPv6 網上で IPv4 の到達性を提供することが必要となってきます。

JPIX においては、IPv6 グローバルアドレスのみをもつクライアントホストから IPv4 インターネット上に存在するコンテンツサーバへの到達性を確保する「IPv6v4 エクスチェンジサービス」の提供準備を開始していましたが、そのファーストステップとして、ユーザ宅内の IPv4 端末から、グローバルな IPv4 への到達性を実現すべく、ホームゲートウェイの開発と IPv6IPv4 トランスレータの提供を行うことにより、「IPv6v4 エクスチェンジサービス」の実験サービスとして加入 ISP に対してアウトソース提供を行います。

今回の実験サービスで使用する IPv6IPv4 トランスレータは、株式会社セーブルネットワークス(本社:東京都港区、代表取締役:渡部 進)で開発された製品を採用しています。

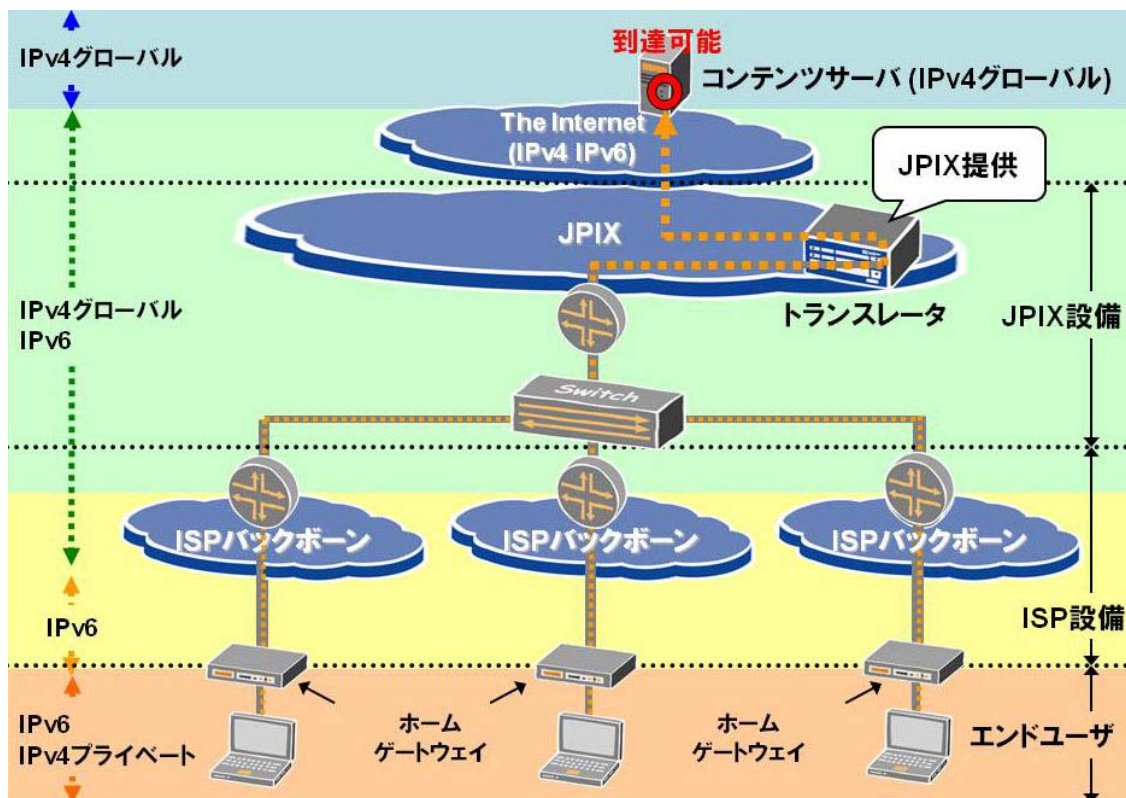
### 【サービス概要】

- ◆実験サービス開始 : 2010年7月
- ◆対象サイト : JPIX 首都圏サイト (JPIX 名古屋、JPIX 大阪を除くすべてのサイト)
- ◆特徴 : ホームゲートウェイによる IPv4 から IPv6 へのトランスレーション機能と、JPIX 内に設置した IPv6 から IPv4 へのトランスレータを組み合わせることにより、IPv6 アクセス網を経由する IPv4 グローバルへの到達性を提供するサービスです。
- ◆利用が想定される ISP : IPv6 アクセス網を構築する ISP

### ◆本サービスの特長

- ・JPIX の設備によるアウトソースサービスなので、加入 ISP のバックボーン設備 (トランスレータ、キャリアグレード NAT などの構築・運用) の負担を軽減できます。
- ・ISP において構築・運用するエンドユーザ向けのアクセス網を IPv6 グローバルの 1 面構成とすることができます。
- ・2011年～2012年と言われている IPv4 グローバルアドレスの在庫が無くなるタイミングの前に、より多くの時間的な余裕を持った対策をとることができます。

◆サービスイメージ図



その他サービスの詳細については本実験サービスを通して内容を固め、決定した事項は随時 JPIX の Web サイト <http://www.jpix.ad.jp/> にて公開していきます。

JPIX は、IPv4 アドレス枯渇に伴う IPv6 の本格展開に向けて、引き続き積極的な取り組みを進めていきます。

以上

株式会社セーブルネットワークスについて

株式会社セーブルネットワークスは、米国 Sable 社製品の開発、製造、販売およびサポート事業のために 2008 年に設立された、株式会社ネットワークバリューコンポーネツの 100%子会社です。会社概要・詳細は、以下の Web サイトをご参照ください。 <http://www.sable.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

- ・ 日本インターネットエクスチェンジ株式会社  
営業部 [sales@jpix.ad.jp](mailto:sales@jpix.ad.jp) TEL:03-3243-8626
- ・ 株式会社セーブルネットワークス  
マーケティング 徳富克子 [press@sable.co.jp](mailto:press@sable.co.jp) TEL:03-5783-1680 (土日祝祭日を除く)